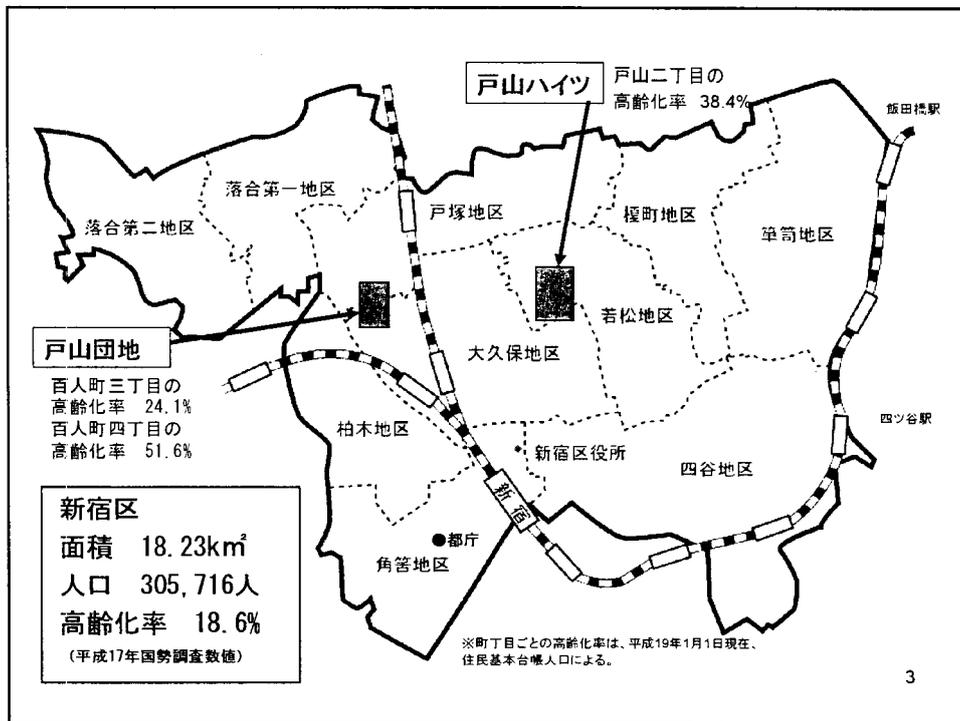


新宿区における 孤独死防止への取組み

新宿区 健康部

東京 23 区





全国・東京都・新宿区の高齢者人口

単位:人

	総数	うち65歳以上		うち75歳以上	
		人数	割合	人数	割合
全国	127,767,994	25,672,005	20.1%	11,601,898	9.1%
東京都	12,576,601	2,295,527	18.3%	977,183	7.8%
新宿区	305,716	56,746	18.6%	25,892	8.5%

平成17年国政調査 第1次基本集計結果 4

全国・東京都・新宿区の単身世帯数、高齢者の率

単位:人

	総数	うち65歳以上		うち75歳以上	
		人数	割合	人数	割合
全国	14,457,083	3,864,778	26.7%	1,966,953	13.6%
東京都	2,444,145	498,443	20.4%	246,757	10.1%
新宿区	98,923	17,237	17.4%	8,543	8.6%

平成17年国政調査 第1次基本集計結果 5

全国・東京都・新宿区の一人暮らし高齢者率

	一人暮らし率	65歳以上	75歳以上
		一人暮らし率	一人暮らし率
全国	11.3%	15.1%	17.0%
東京都	19.4%	21.7%	25.3%
新宿区	32.4%	30.4%	33.0%

平成17年国政調査 第1次基本集計結果 6

高齢者の孤独死防止への取組み

7

取組みの経過

- 高齢者(65歳以上)の独居世帯(17,237人:平成17年度国勢調査)、高齢者のみ世帯(8,543人:同)の増加に伴い、高齢者の孤独死がたびたび報道されるようになっている。
- 区では従来から高齢者の見守りにつながる事業として、地域見守り協力員事業、配食サービス事業、緊急通報システム事業等を実施している。
- 区としては高齢者の見守り体制の更なる充実を図るため、平成18年7月、全庁的な孤独死対策検討会を設けた。

8

孤独死の定義

- 孤独死への対策を検討するには、その対象を明確にする必要があるが、明確な定義はない。介護サービスなど区施策を利用している者や通院している者、家族など見守る者がいる者等他者と一定の接触がある場合、死亡後たまたま暫く発見されないとしても必ずしも孤独死とはいえない。逆に、死亡後1週間程度の発見であっても孤独死とすべき場合もある。自殺を孤独死に含めることも適当でない。
- そこで、孤独死対策の検討に先立ち、区が孤独死対策を講ずべき対象者を「二週間毎程度に見守る者がいない、独居又は高齢者のみ世帯の高齢者」とする。

9

新宿区内における孤独死の実態

- 生活福祉課が把握している近年の孤独死者数は年間約60人から70人程度であり、その3分の2程度は65歳以上である。人口動態統計等データによっても孤独死は100人程度と推測されるが、明確な数字をとらえることは難しい。

10

今後の孤独死対策の考え方

- 日常的に家族や近隣との人間関係がある場合に孤独死に陥る可能性は低い。人間関係が希薄だと異変を誰にも気づかれず、孤独死という結果を招きかねない。
- また、家族や近隣との人間関係を日常生活において持てない、或いは持とうとしない区民も多くなっている。特に、匿名性の高い集合住宅に居住する高齢者は閉じこもりになりやすいとも言われており、高齢化の進む公営住宅等においては、そのリスクが高いと思われる。
- このため、今後このような高齢者に対して何らかの形で見守りのネットワークに入ることを促していく必要があると共に、地域の力による見守りを強めていくことが、孤独死問題解決の基本となると思われる。

11

高齢者の見守り事業

- 配食サービス
- 寝具乾燥消毒サービス
- 緊急通報システム
- 地域見守り協力員
- 高齢者クラブ友愛活動
- 民生委員活動
- 地域包括支援センター等による高齢者相談事業

12

孤独死防止への取組み1

従来の見守り事業に加え、下記事業を実施する。

平成18年度の実施内容

- ゴミの訪問収集の対象拡大と安否確認モデル事業（新宿清掃事務所）
- 高齢者単身世帯見守り事業（生活福祉課）
- 高齢者の孤独死予防に係る広報紙掲載（高齢者サービス課）
- 孤独死を考えるシンポジウム開催（高齢者サービス課）
- 孤独死対策連絡会議の設置（庁内関係課）

13

孤独死防止への取組み2

平成19年度の実施内容

- ゴミの訪問収集による安否確認事業を区内全域に拡大する（新宿清掃事務所）
- 一人暮らし高齢者への情報紙の訪問配布事業（高齢者サービス課）
- 孤独死を考えるシンポジウム開催（高齢者サービス課）
- 孤独死対策連絡会議を通じた庁内連携（関係各課）

14